

令和元年度事業報告書

平成31年（令和元年）4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 国際協力研究所・岡山

1. 事業の成果

海外ボランティア招聘および人材育成事業では、複数の中学校現場との密な連携協働をもとにした事業を提案、実施し、持続可能な社会づくりに資する青少年育成を図ることができた。当該事業に参加した生徒、教職員、さらには地域の方々に好評を得ることができた。生徒の行動要否にも期待をもちたいところだ。環境保全事業として、岡山県の環境教育・環境学習の場に6年目となる全体会およびブース展示をおこなった。環境問題の解決には日常生活における省エネが大切であること、関係者や関係機関との効果的な連携が必要であることを、一般市民（特に青少年層）や関係者に提案することができた。市民への啓蒙および広報事業として、東日本大震災における福島県の現状や課題、国際交流・協力のあり方として日中友好親善さらには公民館をはじめ非営利セクター間の連携について、広く一般市民および関係者に情報提供ならびに問題提起をすることができた。

年度末には、新型コロナウイルス感染・蔓延予防への対応として、参加者数・会場の換気・消毒・社会的距離なども考慮しながら、有意義な事業実施を行うことができた。2020年度は事業の「選択と集中」「分散化」により、その持続可能性を高めたいと考えている。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(円)
海外からボランティアを招聘する事業	米サンノゼ交流団体 受け入れ事業	5月30日	岡山市内各所	7人	一般・関係者 約10名	7,000
	ウガンダ子ども聖歌隊Watoto 受入・交流事業	10/15-10/22	岡山シンフォニー 倉敷市民会館他	8人	中学生・一般 関係者約2,500名	1,390
	日独親善青年交流事業	10月26日	岡山市内各所	5人	一般・関係者 約10名	0
	日中青少年交流促進 訪中事業	11月～12月	中国・上海及び洛陽市 (12/27-12/31)	5人	現地青少年・関 係者約200名	0
人材育成事業	“頑強な青少年と地域づくり” プロジェクト	6月～2月	旭東中・操南中 岡大附中他	8人	中学生約700名	63,663
	留学生交流事業 (International Meeting他)	7月20日 12月21日	岡大附属中学校	7人	中学生30名 留学生17名	43,988
	COP25中学生学習交流 &シンポジウム	3月20日	岡山国際交流センター	6人	中学生及び一般・ 関係者約50名	1,650
環境保全事業	ふくしま現地ボランティア 活動報告会	6月10日	勝央町公民館	2人	一般約50名	0
	第7回環境教育ミーティング 分科会およびブース展示	8月5日	岡山コンベンションセン ター	6人	一般250名	0
	特別学習会「東日本大震災その後から今 を学ぶ～岡山と福島のつながり～」	8月20日	串やま亭	6人	一般・関係者 約15名	7,160
	全国公害資料館フォーラム分科会 「岡山でのNPOにおけるESDとしての環境 学習」	12月17日	川崎医療福祉大学	3人	一般・関係者 約20名	0
市民への啓蒙 及び広報事業	「東日本大震災・ふくしまの今を 青少年と考える」特別上映会・座談会	7/12-7/13	岡山県立図書館ほか	6人	一般約40名	107,391
	SDGs学習会「ポリグロット・タカ夫丸 の考える世界共通言語～SDGsの今をど う生き抜く?～」	2月12日	環境学習センター アスエコ	5人	一般・関係者 約15名	16,410
	SDGsフォーラムin OKAYAMA 特別展示	2月23日	岡山大学 創立五十周年記念館	3人	一般・関係者 約300名	0
	国際貢献NGOフェア特別展示	2/27-3/4	岡山国際交流センター 1階フロア	4人	一般多数	0
	プレ10周年記念大会	2月29日	岡山国際交流センター 5階会議室	5人	関係者のみ	0
	東日本大震災9周年追悼事業特別講演会 「東日本大震災での日米の絆 ～あなたは“トモダチ作戦”を知っていま	3月14日	岡山大学附属中 多目的室1	7人	一般21名	42,650
	日中青少年交流促進団 公式報告会	3月21日	岡山大学附属中 多目的室1	7人	一般約30名	2,960

国際協力関連 研究事業	実施なし	0
ICDI基金 運営事業	実施なし	0

(2) その他事業

実施なし



平成31年度 活動計算書
 平成31年 4月 1日から 令和2年 3月 31日まで
 特定非営利活動法人国際協力研究所・岡山
 (単位：円)

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	4,5000	0	45,000
賛助会員受取会費	0		0
2. 受取寄附金			
受取寄附金	96,375	0	96,375
施設等受入評価益			
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	161,933	0	161,933
4. 事業収益			
 ○事業収益	0	0	0
 △事業収益	0	0	0
4. 其他収益			
受取利息	3	3	3
雑収益	0	0	0
経常収益計	303,311	0	303,311
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
講師謝礼	191,500	0	191,500
	0	0	0
	0	0	0
	0	0	0
人件費計	191,500	0	191,500
(2) その他経費			
会議費	8,380	0	8,380
旅費交通費	43,451	0	43,451
消耗品費	13,040	0	13,040
印刷費	10,000	0	10,000
郵送費	6,200	0	6,200
食糧費	21,691	0	21,691
その他経費計	102,762	0	102,762
事業費計	294,262	0	294,262
2. 管理費			
(1) 人件費			
	0	0	0
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
諸会費	6,000	0	6,000
郵送費	1,980		1,980
雑費	1,069		1,069
その他経費計	9,049	0	9,049
管理費計	9,049	0	9,049
経常費用計	303,311	0	303,311
当期経常増減額			0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期正味財産増減額	0	0	0
前期繰越正味財産額			27,788
次期繰越正味財産額			27,788

平成 31 年度 貸借対照表
令和 2 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人国際協力研究所・岡山
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	27,788	
未収金		
流動資産合計		
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金		
特定資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		27,788
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
前受民間助成金	0	
流動負債合計	0	
2. 固定負債		
長期借入金	0	
退職給付引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	27,788	
当期正味財産増減額	0	
正味財産合計		27,788
負債及び正味財産合計		27,788

平成31年度 財産目録

令和2年 3 月 31日現在

特定非営利活動法人国際協力研究所・岡山

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	27,788	
		27,788
流動資産合計		27,788
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	0	
		0
有形固定資産計		0
(2) 無形固定資産		
		0
無形固定資産計		0
(3) 投資その他の資産		
		0
投資その他の資産計		0
固定資産合計		27,788
資産合計		27,788
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
		0
預り金	0	
		0
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		
正味財産		27,788

前事業年度の年間役員名簿

(平成31年 4月 1日 から 令和2年 3月 31日)

特定非営利活動法人国際協力研究所・岡山

No.	役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報酬を受けた 期 間
1	代表理事	池田 時夫		31年4月1日 ～R2年3月31日	報酬無し
2	副代表理事	則武 秀明		31年 4月1日 ～31年4月27日	報酬無し
3	副代表理事	竹島 潤		31年 4月 1日 ～R2年3月31日	報酬無し
4	副代表理事	安井 有香子		31年 4月27日 ～R2年 3月31日	報酬無し
5	理事	中川 尚子		31年 4月 1日 ～R2年 3月31日	報酬無し
6	理事	バスネット・ナバラジ		31年 4月1日 ～R2年 3月31日	報酬無し
7	監 事	目黒 健治		31年4月 1日 ～R2年 3月31日	報酬無し

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員の住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。